

JR芦原温泉駅周辺地区

# 建築ガイドライン

令和2年6月

## はじめに

### 「JR 芦原温泉駅周辺地区 建築ガイドライン(案)」作成までの経緯

あわら市では、平成 22～24 年度にかけて、あわら市景観基本計画・景観計画を市民と協働で策定し、景観行政団体となって景観法に基づく景観行政が始動しました。

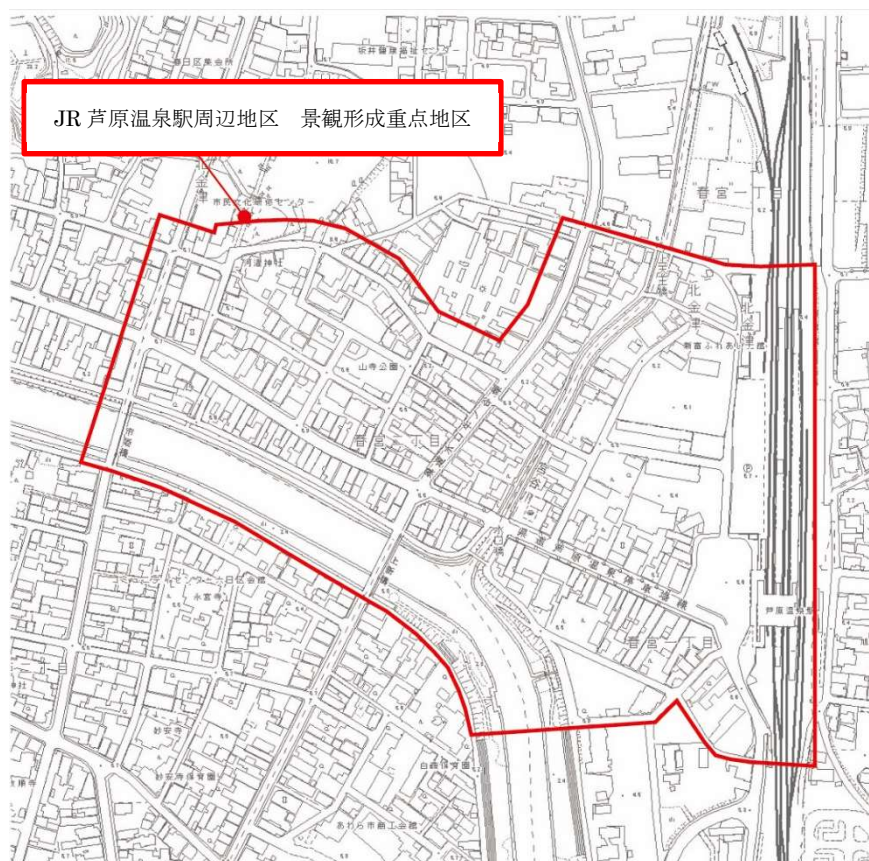
景観計画・景観条例において、「JR 芦原温泉駅周辺地区」が「景観形成重点地区」に選定され、平成 25 年度に新富区・天王区・水口区で景観まちづくり勉強会を実施し、平成 26 年度に、「JR 芦原温泉駅周辺地区 景観まちづくり協議会」を設立し、市の認定を受け、景観形成整備計画、景観まちづくりガイドラインを作成しました。

当ガイドライン(案)は、「JR 芦原温泉駅周辺地区景観形成整備計画」および「景観まちづくりガイドライン」よりも、きめ細やかなルールを定め、建築物の外観修景基準を示すことで、今後の良好な景観を形成することを目的として作成しました。

### 建築ガイドライン(案)の適用範囲

建築ガイドラインの適用範囲は、あわら市景観計画に基づく「JR 芦原温泉駅周辺地区 景観形成重点地区」を指定します。

本地区は、金津市街地に位置し、JR 芦原温泉駅周辺の新富区・天王区・水口区を含む地区です。



# 1. 建物の形態

- ・福井県の北の玄関口にふさわしい洗練された外観に努める。
- ・北陸街道の宿場町、本陣などの歴史的な面影や神社・寺院の風情がある景観拠点として、瓦・木板・格子など、和の要素を取り入れた外観に努める。
- ・駅から続く統一的な景観形成に努める。

## ■ビル

・ビルの外観は、落ち着いた色彩・意匠を基調とし、木板や格子を使ったデザインや鋼製格子などの建材を用いるなど、和風モダンの要素を取り入れた外観に努める。



和風モダンな外観のビル

## ■店舗

・店舗の外観は、落ち着いた色彩・意匠を基調とし、来訪者が入りやすく、明るさと温かみのある雰囲気づくりに努める。

・ショーウィンドウは、外観の一部として、すっきりと品良く表示・ディスプレイし、歩く人にとって楽しいものとなるように努める。



和のデザインを活かした例

## ■住宅

・瓦屋根や木板・木格子など木質・自然風素材を活かしたり、黒・濃茶等の木製建具やアルミサッシを用いたりし、落ち着きと温かみのある和のデザインを採用するよう努める。



木質の素材や黒・濃茶等の建具

## 2. 建物の色彩デザイン

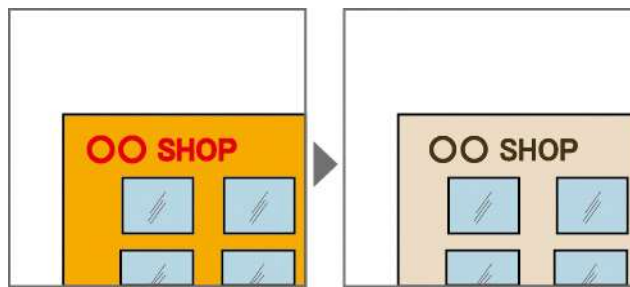
- ・色彩は、グレー・濃茶・茶・ベージュ・白を基本とし、まちなみと調和させる。
- ・木調・自然風の素材を活かし、温かみのある色彩となるように努める。



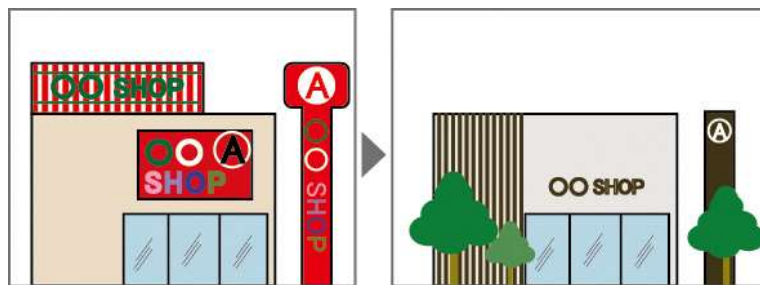
まちなみや自然景観に調和した色彩や素材

## 3. 看板・広告物

- ・看板の表示面積及び掲載数は必要最低限とし、歩行者空間を妨げないようにする。
- ・けばけばしい色は避け、壁面の色と調和させ、表示文字マーク等洗練されたデザインの工夫に努める。



建物とサインを穏やかな色彩にした例



建物とサインの色彩やデザインに関連性を持たせた例



木材などの素材色を活かした例

## 4. 植栽・緑化

- ・沿道には、まちなみを彩る要素の一つとして、四季を感じさせる花木の植栽コンテナを設置する。
- ・植栽コンテナは、水やり、剪定など定期的な管理・保全に努める。
- ・個人の敷地内では、道路に面する部分等オープンスペースは、可能な限り緑化に努める。
- ・緑化にあたっては郷土種を取り入れるなど、自然な感じで季節感が出るよう樹種の選定に配慮し、生垣や低木・中高木を組み合わせて、良好な周辺景観との調和を図る。



統一したデザインのコンテナ



駐車場と敷地内緑化の例



オープンスペースを活用したコミュニティガーデン